【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公開番号】特開2015-186683(P2015-186683A)
【公開日】平成27年10月29日(2015.10.29)
【年通号数】公開・登録公報2015-066
【出願番号】特願2015-148320(P2015-148320)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成28年4月27日(2016.4.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技領域が形成された遊技盤と、
前記遊技領域の所定位置に設けられ、遊技球の入球が抽選の契機となる始動入賞口と、
前記始動入賞口への入球を契機として、通常遊技より遊技者に有利な状態である特別遊技へ移行するか否かを判定するための当否抽選を実行する当否抽選手段と、
前記当否抽選の結果を示すための図柄が変動表示される図柄表示装置と、
図柄の変動開始から停止までの変動表示過程が定められた複数種の変動パターンから前記当否抽選の結果に応じていずれかを抽選で選択するとともに、その選択において参照する選択基準として前記変動パターンと抽選値との対応関係が定められた変動パターン選択基準を複数保持する変動パターン決定手段と、
前記当否抽選の結果が大当りであった場合に前記特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、
前記特別遊技の終了後に前記当否抽選の結果が大当りとなる確率が通常状態より高まる状態である確率変動状態、および、前記特別遊技の終了後から所定の終期に達するまで前記図柄の変動時間が通常状態より短縮される状態である変動時間短縮状態のうち一方または双方に移行させるか、双方に移行させないか、いずれかの遊技状態となる特定遊技実行手段と、
を備え、
前記始動入賞口として、第１始動入賞口および第２始動入賞口が設けられるとともに、前記変動時間短縮状態以外においては前記第２始動入賞口への入球容易性が前記第１始動入賞口への入球容易性より低い状態となり、前記変動時間短縮状態においては前記第２始動入賞口への入球容易性が前記第１始動入賞口への入球容易性より高い状態となるよう設けられ、
前記変動パターン決定手段は、前記当否抽選が大当りとなったときのその当否抽選が前記第１始動入賞口への入球を契機とした抽選であった場合には、その大当り後に参照する変動パターン選択基準として、リーチ状態を経由する変動過程であるリーチ変動パターンの選択頻度が相対的に高い変動パターン選択基準を参照し、前記当否抽選が大当りとなったときのその当否抽選が前記第２始動入賞口への入球を契機とした抽選であった場合には

、その当否抽選が大当りとなったときの遊技状態が前記確率変動状態へ移行した状態か否かおよび前記変動時間短縮状態へ移行した状態か否かと、その大当り後において前記確率変動状態へ移行するか否かおよび前記変動時間短縮状態へ移行するか否かと、の組合せに応じてその大当り後に参照する変動パターン選択基準を決定する弾球遊技機。